

看護学研究科 博士後期課程 ディプロマ・ポリシー

- 1.看護学の専門性を追求し学際的な視野から独創的な学術研究を自立して推進し、新たな理論構築や専門性の高い看護ケアを開発できる研究能力を修得している。(知識・能力、課題設定力、研究構築力、幅広い知識)
- 2.高い倫理観を有し、看護実践及び関連領域の理論・研究を活用して、研究分野、教育分野において指導的立場を担い、看護学の発展に寄与できる能力を修得している。(知識・能力、倫理、情報発信)
- 3.看護実践の質向上に寄与する優れた研究成果を国内外に広く発信する能力を修得している(情報発信、国際性)。
- 4.学際的・国際的な視野に立ち、学術交流、保健・医療・福祉活動に貢献できる能力を修得している(知識・能力、情報発信、幅広い知識、国際性)。

看護学研究科 博士後期課程 カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの関連

※太数字は強く関連するディプロマ・ポリシー

専門分野	カリキュラム・ポリシー	関連するディプロマ・ポリシー	授業科目	単位数	配当年次
看護学分野	共通科目 基盤となる理論であるシステム理論、行動理論を理解するとともに、関連学問領域の知識・理論、研究方法論を修得する。	①②④	システム理論	2	1・2
			行動理論	2	1・2
			看護ケア基礎科学	2	1・2
	専門科目 主科目及び副科目の2つの特論を体系的に学修し、広い視点を獲得しつつ、当該領域の看護学基礎研究及び応用研究の研究成果を修得する。	①②③④	臨床ケアシステム特論	2	1・2
			家族ケアシステム特論	2	1・2
			周産期ケアシステム特論	2	1・2
			高齢者ケアシステム特論	2	1・2
			コミュニティケアシステム特論	2	1・2
			看護技術教育学特論	2	1・2
	演習科目 高い倫理観と実践力をもち、保健・医療・福祉の分野で教育・研究能力が発揮できる高度専門職者・管理者、教育及び研究機関における質の高い教育・研究活動を担う教育者・研究者に必要な、研究を深化させて自立的に発展させ得る能力を獲得する。	①②③④	看護学演習	2	1・2
特別研究 主指導教員と副指導教員による複数教員指導体制のもとで、看護学の専門性を追求し、看護実践の質向上に貢献する優れた研究を遂行する。その成果を博士論文にまとめ公表する。	①②③④	博士後期課程特別研究	6	1～3	